

探訪 文化財 かがしま

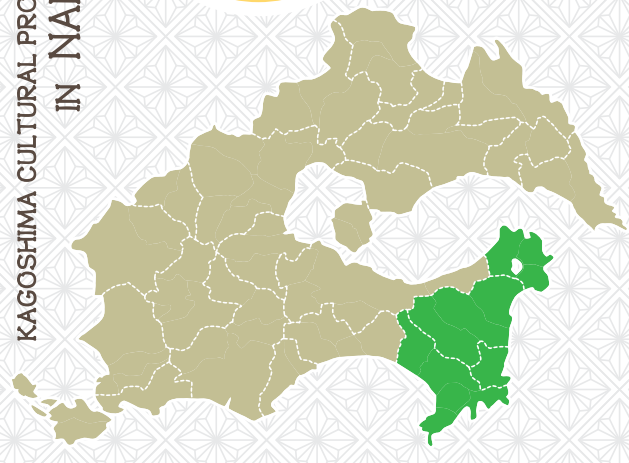


あなたの知らない鹿児島に
あいにいこう。

探訪 文化財 かがしま



KAGOSHIMA CULTURAL PROPERTY EXPLORATION
IN NANSATSU AREA



鹿児島
歴史大好きガール
下豊留佳奈さん
オススメ3コース
全28箇所



はじめに

鹿児島県教育委員会では、本県に所在する文化財の価値を広く国内外に発信し、本県の魅力を伝えるため、文化財をテーマとした周遊モデルコースを設定し、歴史ガイドブック「かごしま文化財探訪」やPR動画を制作しました。

本書は、今年度対象地区とした南薩地区におけるテーマごとの周遊モデルコースや、その文化財を掲載したものです。令和元年度から令和3年度にかけて、7地区について作成することとしています。

本県は、九州最南端に位置し、その範囲は奄美群島まで南北約600kmにもわたり、各地で様々な文化が育まれ、現在も数多くの文化財が残されています。本書では、県内の一部の文化財を紹介しておりますが、これを糸口として、県内外の多くの方々の本県の文化財に興味を持ち、探訪していただければ幸いです。

令和3年3月
鹿児島県教育委員会

本ガイドブックに紹介させていただいた一部の文化財については、動画でもご覧いただけます。



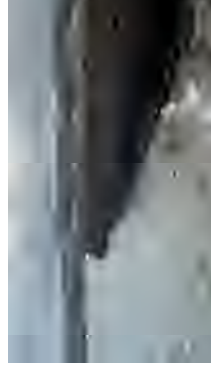
<https://www.kagoshima-kankou.com/s/movie/53636/>



鹿児島は日本の南端にあり、古くから中国をはじめとするアジア太平洋地域の国々の影響を受けながら特色ある歴史を積み重ねてきました。文化財を探訪することで、鹿児島の魅力を再発見してみましよう。

南薩地区では、「島津家満喫コース」、「神仏堪能コース」、「海洋国家薩摩をめぐるコース」の3つのモデルコースを設定しました。

鹿児島と海の物語を学びたい方におすすめ！
「海洋国家薩摩をめぐるコース」

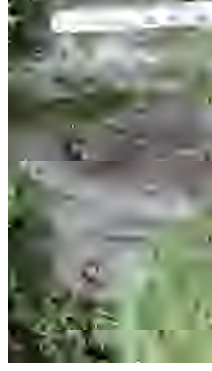


その他

- 島津忠良の墓 (南さつま市指定史跡) P9
- 寛庭芳有大姉の墓 (南さつま市指定史跡) P10
- 島津尚久の墓 (南さつま市指定史跡) P11
- 島津貫久の灰塚 (南さつま市指定史跡) P12
- 富松左京の墓 (南さつま市指定史跡) P13
- 井尻神力坊の墓 (南さつま市指定史跡) P14
- 島津墓地 (南九州市指定史跡) P15
- 揖宿神社本殿・舞殿・拜殿・勅使殿 (指宿市指定有形文化財 (建造物)) P16
- と社叢 (県指定天然記念物) P17
- 揖宿神社前田ノ神依代棟ノ木 (指宿市指定有形民俗文化財) P18
- 湯権現 (指宿市指定史跡) P21
- 殿様湯跡 (指宿市指定史跡) P22
- 島津斉彬公堀井碑新旧二墓 (指宿市指定有形文化財 (歴史資料)) P23
- 今和泉島津家墓地 (国指定史跡) P24



パワーカーが欲しい方におすすめ！
「神仏堪能コース」



- 八瀬尾の滝 (南九州市指定名勝) P25
- 水元神社の薩摩塔 (南九州市指定有形民俗文化財) P26
- 清水摩崖仏 (県指定史跡) P27
- 小野南方神社狛犬 (南九州市指定有形文化財 (彫刻)) P28
- 高田摩崖仏 (南九州市指定史跡) P29
- 城山の梵鐘 (枕崎市指定有形文化財 (工芸品)) P30
- 硫黄山岩崎寺跡 (枕崎市指定史跡) P31
- 大野嶽神社仁王像・狛犬・鳥居 (南九州市指定有形文化財 (建造物)) P32
- 天の岩屋供養塔群 (指宿市指定有形文化財 (歴史資料)) P33

- 野間神社一の鳥居 (南さつま市指定史跡) P34
- 野間神社 (南さつま市指定史跡) P35
- 坊津 (国指定名勝) P36
- 故間神社本殿 (県指定有形文化財 (建造物)) P37
- 前田利右衛門墓石 (指宿市指定有形文化財 (歴史資料)) P38
- 山川薬園跡及びりェウガン (県指定天然記念物) P39
- 河野寛兵衛家墓石群 (指宿市指定有形文化財 (歴史資料)) P40
- 第8代濱崎太平次正房墓 (指宿市指定史跡) P41
- 宮ヶ浜港防波堤 (早海堤) (国登録有形文化財 (建造物)) P42

- その他文化財 P41～
- 季節の見どころ P47～





お殿様気分を味わいたい方におすすめ！

「島津家満喫コース」

あなただけの知らない鹿児島に
あいにいこう。

戦国島津ゆかりの地・南さつまに、島津斉彬をはじめ歴代の殿様が訪れている指宿など、南薩地区には島津家にまつわる文化財が多く残っています。「お殿様も、この地に来たんだよな」と、殿様になった気分めぐってみましょう。

JR 鹿児島中央駅 発

- ① 島津忠良の墓・寛庭芳宥大姉の墓
南さつま市加世田武田 17932 番地  約49分 
- ② 島津尚久の墓・島津貴久の灰塚
南さつま市加世田武田 17932 番地 
- ③ 冨松左京の墓・井尻神力坊の墓
南さつま市加世田武田 17932 番地 
- ④ 島津墓地
南九州市知覧町郡 16570  約25分 
- ⑤ 指宿神社本殿・舞殿・拝殿・勅使殿と社叢
指宿市東方 733  約40分 
- ⑥ 指宿神社前田ノ神依代棕ノ木
指宿市東方 733 
- ⑦ 湯権現
指宿市西方 1408 
- ⑧ 殿様湯跡
指宿市西方 1408  約3分 
- ⑨ 島津斉彬公堀井碑新旧二基
指宿市東方 7353
- ⑩ 今和泉島津家墓地
指宿市岩本 3032-1 ほか  約11分

JR 鹿児島中央駅 着  高速 約55分

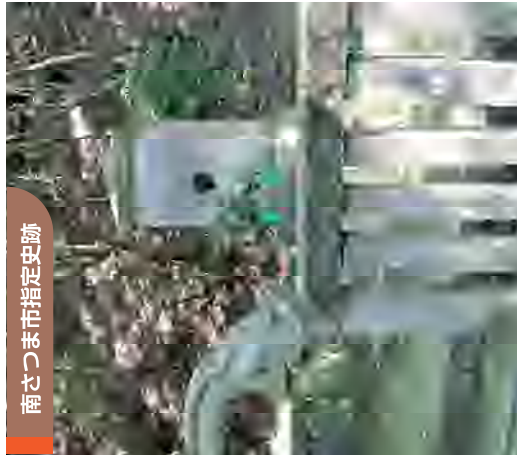
島津忠良の墓・寛庭芳宥大姉の墓

しまづただよよしのはか・かんていほうゆうだいしのはか

2.

島津尚久の墓・島津貴久の灰塚

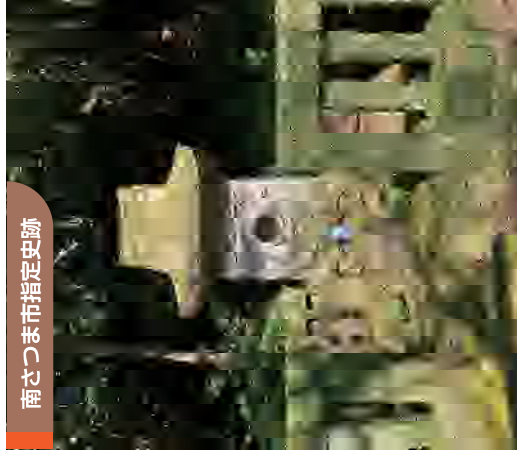
しまづなおひさのはか・しまづたかひさのはいづか



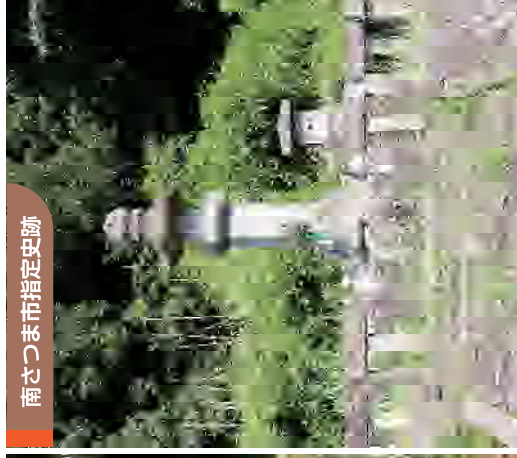
南さつま市指定史跡



南さつま市指定史跡



南さつま市指定史跡



南さつま市指定史跡

寄り添う忠良夫婦の墓

島津家中興の祖と呼ばれている島津忠良は、戦国武将・島津四兄弟（義久、義弘、歳久、家久）の祖父にあたります。薩摩郷中教育の基本の精神「日新公いろは歌」をつかった人物として有名です。加世田の屋敷で、77歳で亡くなりました。墓の石囲いは、後年に施したものです。お墓には、歴代藩主もしばしばお参りにきています。「寛庭芳宥大師」は忠良の妻の法名で、忠良が亡くなる5年前に亡くなっており、「寛庭さあ」と呼ばれています。麓の浄福寺が菩提寺であり、墓も境内にありましたが、大正14(1925)年に忠良の墓の側に移されました。

文化財探訪 行ってみてコラム

竹田神社の起源は室町時代の保泉寺にはじまり、忠良の菩提寺となつてからは日新寺となりまりました。明治2年廃仏毀釈により廃寺となりましたが、明治6年その跡地に竹田神社が建立されました。

● 周辺環境



● お問い合わせ先

南さつま市教育委員会生涯学習課文化係
鹿児島県南さつま市加世田川畑 2648 番地
☎ 0993-53-2111 (代表)

● 所在地

南さつま市加世田
武田 17932 番地



島津忠良の息子たち

島津尚久は忠良の3男です。鹿籠(枕崎)領主となりましたが、健康が優れずに32歳の若さで亡くなりました。島津貴久は忠良の嫡男です。忠良の死から2年半後に加世田で亡くなりました。後年、貴久の嫡男の島津義久が、貴久の火葬がおこなわれた場所に石塔をたてました。これを地元では「お灰塚」と呼んでいます。現在の灰塚は、享和3(1803)年に再興したものです。

文化財探訪 行ってみてコラム

島津忠良を祀る竹田神社境内には、イヌマキの並木道「いにしへの道」が整備され、史跡やお墓が点在しています。

● 周辺環境



● お問い合わせ先

南さつま市教育委員会生涯学習課文化係
鹿児島県南さつま市加世田川畑 2648 番地
☎ 0993-53-2111 (代表)

● 所在地

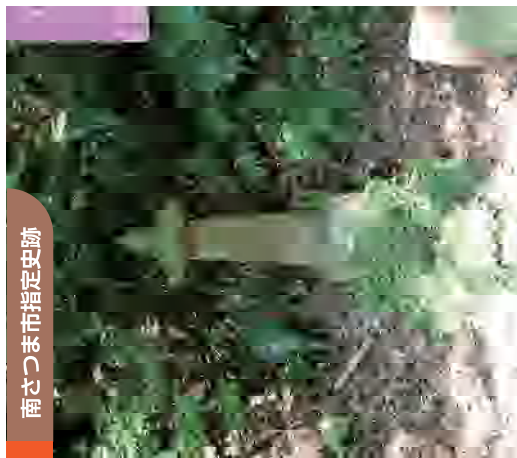
南さつま市加世田
武田 17932 番地



富松左京の墓・井尻神力坊の墓

とみまつさきようのはか・いじりじんりきぼうのはか

南さつま市指定史跡



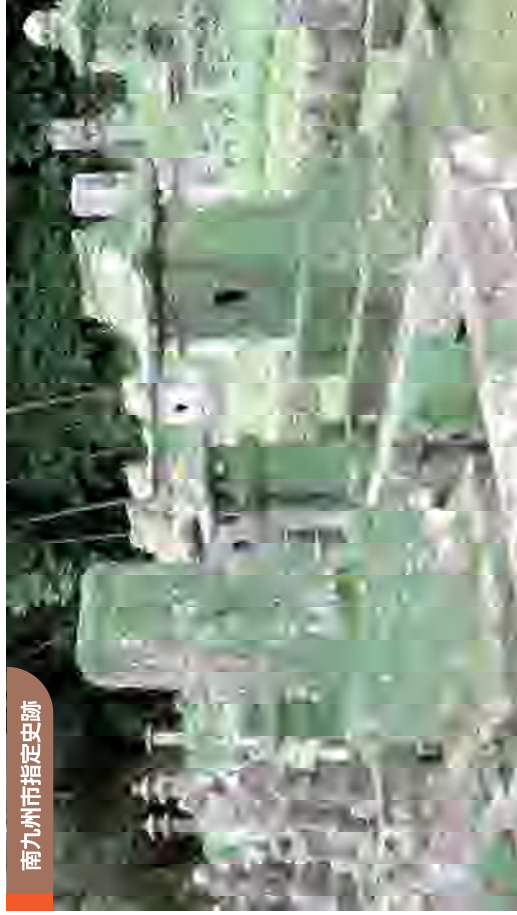
南さつま市指定史跡



島津墓地

しまつぼち

南九州市指定史跡



島津忠良を支えた2人の墓

天文7(1538)年の別府城の戦いに、忠良の第3隊組頭として参加した左京は、敵の守将・大山宮内と緋討ち戦死しました。討ち死にした勇戦を称えて建立されました。

井尻神力坊は忠良の命を受け、全国66か所に国家安泰・五穀豊穡を祈り経塚(地中に埋めたお経を入れた筒の上に建てた塚)を立ててまわりまわりました。帰国すると忠良は8年前に他界しており、殉死しようとしていましたが、僧で刀が使えないため木の上から身を投げ自殺したといわれています(真幸で亡くなったという説もあります)。

文化財探訪 行ってみてコラム

井尻神力坊の墓は、常潤院跡にあります。常潤院は、島津忠良が建てた塔頭(脇寺)で、僧侶の学問や修行の場でした。

● 周辺環境



● お問合せ先

南さつま市教育委員会生涯学習課文化係
鹿児島県南さつま市加世田川畑 2648 番地
☎ 0993-53-2111 (代表)

● 所在地

南さつま市加世田
武田 17932 番地



知覧島津氏歴代の墓がある西福寺跡

西福寺は、曹洞宗のお寺で知覧島津氏の菩提寺となっています。文和2(1353)年より知覧を地頭として治めた、島津氏第4代当主忠宗の第3子忠光から、現在までの歴代当主が眠っています。この忠光を知覧島津氏の初代としています。初代忠光から第15代久利までは佐多姓を名乗っていますが、第16代久遠から島津姓を名乗ることと、知覧を私領地とすることが許されています。領主となつてからも佐多氏(知覧島津氏)は、家老や若年番などを務め、藩政を支えました。

文化財探訪

行ってみてコラム

佐多氏の居城である知覧城は、国の史跡に指定されています。

● 周辺環境



● お問合せ先

南九州市教育委員会文化財課文化財係
鹿児島県南九州市知覧町 17880(ミュージアム知覧内)
☎ 0993-83-4433

● 所在地

南九州市知覧町 16570



揖宿神社本殿・舞殿・拝殿・勅使殿と社叢

いぶすぎじんじやほんでん・まいでん・はいでん・ちよくしでん・しゃせう

揖宿神社前田ノ神依代棕ノ木

いぶすぎじんじやまえたのかみよりしろむくのき

6.

揖宿市指定有形文化財（建造物）



県指定天然記念物



島津家ゆかりの神社

揖宿神社は開拓や航海安全の神として、歴代島津藩主の信仰が深く、社殿の改修などすべて藩費で施工されました。現在の社殿は、島津斉興（10代薩摩藩主）が弘化4（1847）年に建造したものです。花崗岩の大鳥居は、甲突川五石橋をつくった岩永三五郎によって造られました。石材は、小根占より運ばれました。宝物殿に収められている能面（尉面、姫面、狂言面）は、県の有形文化財に指定されています。手水鉢や宝物殿にある弘化四揖宿神社造替え関係資料3点は市の文化財に指定されています。

揖宿神社には、社殿を包むように推定樹齢700年以上といわれるクスノキの大樹が8株群生しています。さらにクスノキの周りには、エノキやイチヨウなど、高さ20mを超える大木がまとまって生えています。大木が群生した社叢は、県内でも珍しいものです。

● 周辺環境



- お問い合わせ
揖宿市教育委員会歴史文化課文化財係
鹿児島県揖宿市十二町 2290
☎ 0993-23-51100

● 所在地

揖宿市東方 733



樹木の田の神

揖宿神社前の田の神は、ムクノキを神体としています。樹木の田の神が宿ると伝えられている珍しい事例で、田の神の石像がつくられる前の信仰のかたちを伝え残すものです。昭和28（1953）年頃まで、揖宿神社ではこのムクノキの下でお田植え祭りが行われていました。なお、隣接する慰霊碑の裏には地域が造った田の神石像があります。

文化財探訪

行ってみてコラム

手水鉢は、家老の調所笑左衛門広郷が寄進したものです。刻まれた名前を確認してみてください。

文化財探訪

行ってみてコラム

樹高が約21.1m、幹周りが約3.1mあり、樹齢は300年以上といわれています。

● 周辺環境



- お問い合わせ
揖宿市教育委員会歴史文化課文化財係
鹿児島県揖宿市十二町 2290
☎ 0993-23-51100

● 所在地

揖宿市東方 733



湯権現

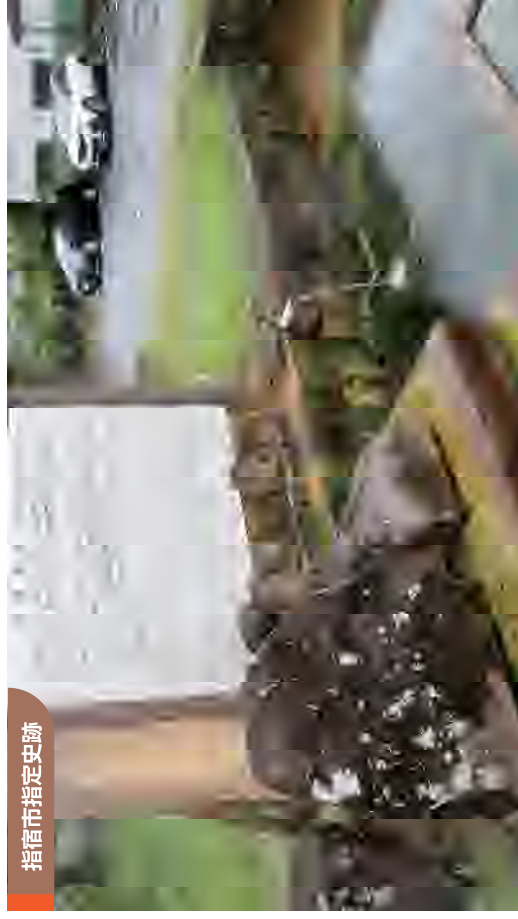
ゆのごんげん



指宿市指定史跡

殿様湯跡

このさまゆあと



指宿市指定史跡

温泉・経済発展の守り神

指宿の豪商・濃崎家第5代の湊太左衛門が、弥次ヶ湯付近の長井温泉そばに温泉の神を祀ったことがはじまりです。天保2(1831)年に島津斉興(10代薩摩藩主)によって現在地へ移築されました。濃崎家6代は、湯権現社の石殿をつくった功で、島津斉宣(9代薩摩藩主)から稲荷丸の手形をもらい、荷物を運搬する権利を得ています。社殿正面の「湯権現」の額は、有栖川宮織仁親王によるものです。

文化財探訪
行ってみてコラム

指宿温泉まつりの式典は、社前でおこなわれています。

● 周辺環境



- お問合せ先
指宿市教育委員会歴史文化課文化財係
鹿児島県指宿市十二町 2290

☎ 0993-23-51100

- 所在地
指宿市西方 1408



島津家の温泉別荘跡

文政10(1827)年、島津斉興(10代薩摩藩主)が弥次ヶ湯付近の長井温泉にあった島津家別荘にこられた際、この湯が体に良いことが分かり、天保2(1831)年に斉興によって瀧ヶ浜から別荘が移設されました。その後、島津斉彬ら代々の薩摩藩主が訪れ、「殿様湯」と呼ばれるようになりました。現在も浴場跡がそのまま保存され、石造りの湯船や浴室のタイルが残っています。隣接して銭湯(温泉)があり、当時の殿様気分を味わうことができます。

文化財探訪
行ってみてコラム

殿様湯は、浴用は神経痛や筋肉痛、飲用は慢性消化器病や慢性便秘に効能があります。

● 周辺環境



- お問合せ先
指宿市教育委員会歴史文化課文化財係
鹿児島県指宿市十二町 2290

☎ 0993-23-51100

- 所在地
指宿市西方 1408



9. 島津斉彬公堀井碑新旧二基

しまづなりあきらこうくつせいひんきゆうにぎ

指宿市指定有形文化財（歴史資料）



東郷親子の新旧堀井碑

安政5(1858)年に指宿を訪れた島津斉彬(11代薩摩藩主)は、干ばつを心配した農民たちが遠くから水をくんできて水田にかけている様子を目の当たりにし、奉行見習いの東郷吉左衛門に命じ、二月田から魚見丘下にかけて97か所の井戸を掘らせて干ばつに備えました。掘った記念に、間水神社境内に水神碑と堀井碑を建立しましたが、その後碑文が読みづらくなつたために吉左衛門の息子、東郷平八郎が書いた碑文と添え書きをもとに新しく碑が建てられました。

文化財探訪

行ってみてコラム

明治から大正にかけての耕地整理により井戸は埋められ、現在は残っていません。

● 周辺環境

- お問合せ先
指宿市教育委員会歴史文化課文化財係
鹿児島県指宿市十二町 2290
☎ 0993-23-51100
- 所在地
指宿市東方 7353



10. 今和泉島津家墓地

いまいずみしまづげぼち

国指定史跡(※鹿児島島津家墓所の一つ)



島津家一門家の墓所

今和泉島津家は、延享元(1744)年に島津家の跡継ぎが途絶えぬよう設けられた一門家のひとつです。第13代將軍徳川家定に嫁いだ天璋院篤姫も、今和泉島津家のお出です。墓所には、今和泉島津家初代の忠郷から忠温、忠厚、忠喬、忠剛(篤姫の父)、忠冬(篤姫の兄)までの6代の殿様とその奥方らが祀られています。五輪塔や宝篋印塔、祠の形をした13基の墓石が、100基あまりの灯籠に囲まれています。

文化財探訪

行ってみてコラム

島津家歴代の墓所、一門家(越前・加治木・垂水・今和泉)の墓所、一所持の宮之城島津家の墓所は、まとめて国の史跡に指定されています。

● 周辺環境

- お問合せ先
指宿市教育委員会歴史文化課文化財係
鹿児島県指宿市十二町 2290
☎ 0993-23-51100
- 所在地
指宿市岩本 3032-1 ほか





パークが欲しい方におすすめ！

「神仏堪能コース」

あななの知らない鹿児島に
あいにいこう。

神社に寺跡に摩崖仏に滝！様々なパワースポットをめぐることが
できるコースです。また、鹿児島では徹底的な廃仏毀釈をしており、
文化財からも当時の激しさをうかがうことができます。実際に目
で見て、触れて感じてみてください。

JR 鹿児島中央駅 発

- 1 八瀬尾の滝
南九州市川辺町野崎 約41分
- 2 水元神社の薩摩塔
南九州市川辺町清水 1343-1 P 約15分
- 3 清水摩崖仏
南九州市川辺町清水薬師 P i 約3分
- 4 小野南方神社狛犬
南九州市川辺町小野 89-5 P 約11分
- 5 高田摩崖仏
南九州市川辺町高田 5919 P 約10分
- 6 城山の梵鐘
枕崎市桜山町 272-1 P i 約24分
- 7 硫黄山岩崎寺跡
枕崎市立神本町 約6分
- 8 大野嶽神社仁王像、狛犬、鳥居
南九州市額娃町郡 4744 P i 約40分
- 9 天の岩屋供養塔群
指宿市開聞仙田 6542 約22分

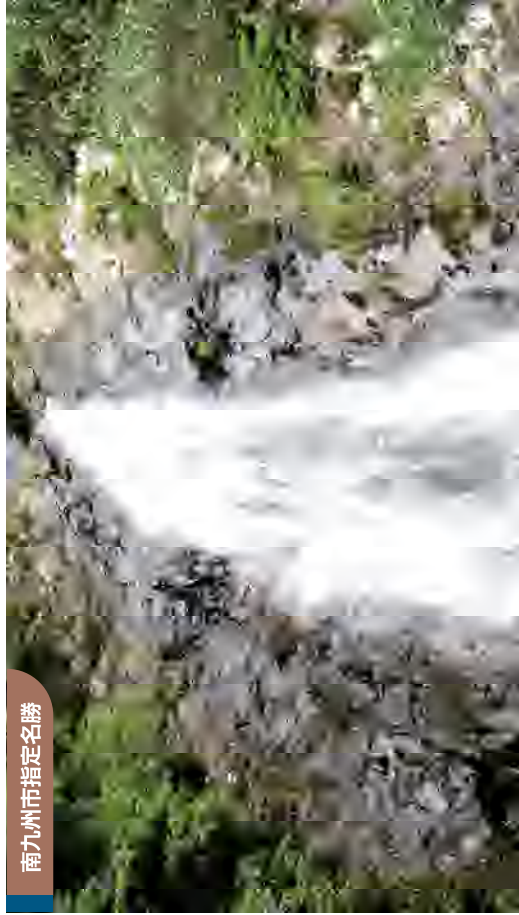
JR 鹿児島中央駅 着



八瀬尾の滝

やせおのたき

南九州市指定名勝



歌人も訪れた修験道の修行場

八瀬尾の滝は、むかし修験道の修行場だったといわれています。道路から見える第1の滝は高さが約25mあります。第1の滝の左側の林間を登れば、第2～第8と滝を見ることができます。周辺からは鉄滓(鉄を製錬する際に出る不純物)が見つかっており、豊富な水を利用して製鉄が行われていたことが考えられます。明治3(1870)年に、歌人の八田知紀も訪れており、「白雲の幾重かさなる高嶺より落ち来る滝の流れなるらむ」と詠んでいます。

文化財探訪

行ってみてコラム

滝の左側には、八瀬尾大権現もありますのでセットで見学してください。

● 周辺環境



● お問合せ先

南九州市教育委員会文化財課文化財係
鹿児島県南九州市知野町 17880(ミュージアム知野内)

☎ 0993-83-4433

● 所在地

南九州市川辺町野崎



水元神社の薩摩塔

みずもとじんじやのさつまつとう

南九州市指定有形民俗文化財



中国の石材でできた仏塔

薩摩地方ではみられない異質の硬い石材でできた仏塔です。中国浙江省の石材であることが確認され、中国の商人や地元権力者によってもたらされたものと考えられます。高さが195cmあり、六角柱の塔身の四面には仏像が、上部中央には阿弥陀如来が彫刻してあります。五石の組立塔で、清水の雲朝寺から発掘されました。水元神社の創建は不明ですが、名のとおり水源地を守る水神として建立されたと考えられます。

文化財探訪

行ってみてコラム

神社横から流れ出る湧水は、日本の名水百選に選ばれています。

● 周辺環境



● お問合せ先

南九州市教育委員会文化財課文化財係
鹿児島県南九州市知野町 17880(ミュージアム知野内)

☎ 0993-83-4433

● 所在地

南九州市川辺町清水 1343-1



清水摩崖仏

きよみずまがいがぶつ



県指定史跡

小野南方神社狛犬

おのみなみかたじんじやこまいぬ



南九州市指定有形文化財（彫刻）

圧巻のパノラマ、大規模摩崖仏群

清水の川沿いの岩壁（高さ約20m、幅約400m）に、200基の五輪塔・宝篋印塔・板碑などの線刻や浮彫りがあります。平安末期から明治28（1895）年までの約630年にわたり追加刻銘されて今に残る大規模な摩崖仏群が成立しました。数量の多いこと、様式が多様なこと、時代が長期にわたることから、信仰のかたちを知る上で貴重です。

文化財探訪

行ってみてコラム

令和2（2020）年に建設された、展望デッキよりご覧ください！

● 周辺環境



● お問合せ先

南九州市教育委員会文化財課文化財係
鹿児島県南九州市知覧町 17880（ミュージアム知覧内）

☎ 0993-83-4433

● 所在地

南九州市川辺町清水薬師

約330年以上前につくられた
2対4基の狛犬

南方神社とは、諏訪神社の別名です。小野南方神社には、2つの御神体（鎌）があり、それぞれ2つの鳥居、2対（4基）の狛犬があります。建立の由来は明らかではありませんが、棟札に元禄2（1689）年のものがあります。社殿は、平成15（2003）年に約300年ぶりに築造されました。狛犬は、元禄2年に小野集落民が魔除けのために造立したものとされています。とても良い保存状態です。

文化財探訪

行ってみてコラム

並立社殿、並立鳥居、並立狛犬とそろっている諏訪神社は大変珍しいです。

● 周辺環境



● お問合せ先

南九州市教育委員会文化財課文化財係
鹿児島県南九州市知覧町 17880（ミュージアム知覧内）

☎ 0993-83-4433

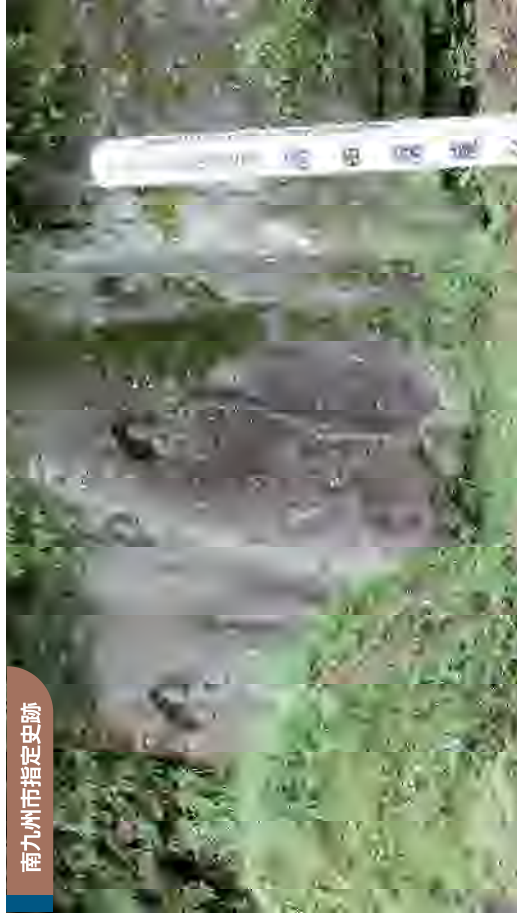
● 所在地

南九州市川辺町小野 89-5



高田摩崖仏

たかだまがいぶつ



南九州市指定史跡

廃仏毀釈を逃れた摩崖仏

貞享4(1687)～正徳元(1711)年までの25年にわたって彫られた仏像の浮彫りです。林の中に隠れていたため、運よく廃仏毀釈の難を逃れ完全な形で現在まで残っています。聖観音座像、阿彌陀如来坐像、薬師如来座像、大黒天立像、毘沙門天立像、阿彌陀如来立像、天照大神宮立像が彫られています。

文化財探訪

行ってみてコラム

近くの石切り場から切り出される高田石は、墓碑や記念碑に用いられる石材です。

● 周辺環境



● お問合せ先

南九州市教育委員会文化財課文化財係
鹿児島県南九州市知覧町 17880(ミュージアム知覧内)

☎ 0993-83-4433

● 所在地

南九州市川辺町高田 5919



城山の梵鐘

しろやまのぼんしょう



枕崎市指定有形文化財(工芸品)

数奇な運命をたどった梵鐘

坊津一乗院の梵鐘を、廃仏毀釈の際に南方郷戸長扱所(鹿籠と坊泊の役場)に運び報時鐘としました。その役所が桜之城跡にあります。人夫80人で城山に運んだといいます。明治10(1877)年の西南戦争時には、薩軍に運ばれて兵器に変わりましたが、同12(1879)年に大阪の業者に発注して原型どおりに鋳造しました。同12年5月11日から撞き始め、昭和3(1928)年に枕崎にサイレンができるまで、村民に時を知らせました。

文化財探訪

行ってみてコラム

梵鐘のある桜之城跡は、市の史跡に指定されています。

● 周辺環境



● お問合せ先

枕崎市役所教育委員会文化財課文化係
鹿児島県枕崎市山手町 175 番地

☎ 0993-72-9998

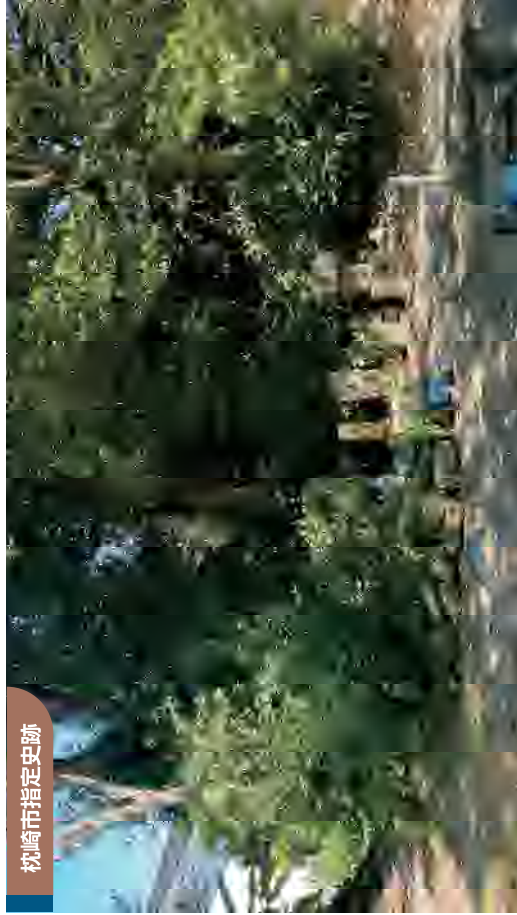
● 所在地

枕崎市桜山町 272-1



7. 硫黄山岩崎寺跡

いおうざんいわさきであと



枕崎市指定史跡

一乗院ゆかりの寺跡

岩崎寺(真言宗)は、坊津にあった一乗院の直末寺で、山号は硫黄山です。一乗院は百済の僧・日羅の創建(538年)と伝わります。岩崎寺の創建年の記録はありませんが、一乗院からして大変古い歴史があると考えられます。豊臣秀吉と対立して文禄3(1594)年に坊津に配流された近衛信輔と寺の住職との親交が深く、よく参詣されていたようです。廃仏毀釈で廃寺になり建物は残っていませんが、墓碑・石塔類が残っています。

文化財探訪
行ってみてコラム

南さつま市坊津町の一乗院跡は、県の史跡に指定されています。

● 周辺環境

- お問合せ先
枕崎市役所教育委員会文化課文化係
鹿児島県枕崎市山手町 175 番地
☎ 0993-72-9998
- 所在地
枕崎市立神本町



8. 大野嶽神社 仁王像、狛犬、鳥居

おおのだけじんじやにおうぞう、こまいぬ、とりい



南九州市指定有形文化財(建造物)

廃仏毀釈を物語る仁王像

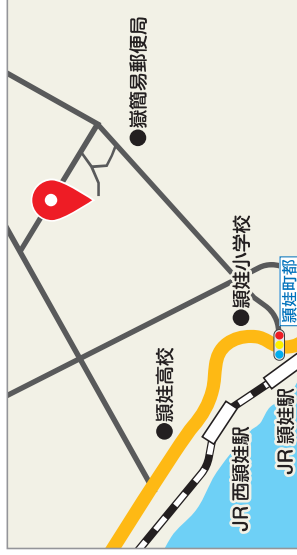
大野嶽山頂付近にある大野嶽神社は、現在北向きに建てられています。仁王像、狛犬、鳥居の位置から、もともと東向きに建てられていたことが分かります。右側の仁王像は、廃仏毀釈により頭部と腕が破損していますが、原型を留めており大変貴重です。しかし、復元する際に左右の仁王像の上半身が逆にのせられてしまっています。自分の体の治したい、良くしたいと同じ場所をなでると良いとされています。

文化財探訪
行ってみてコラム

大野嶽神社では、自分の年齢の数だけお賽銭をお供えすると健康・長寿に御利益があるといわれています。

● 周辺環境

- お問合せ先
南九州市教育委員会文化財課文化係
鹿児島県南九州市知野町 17880(ミュージアム知野内)
☎ 0993-83-4433
- 所在地
南九州市瀬田町 4744



天の岩屋供養塔群

あまのいわやくようとうぐん

指宿市指定有形文化財（歴史資料）



開聞岳麓の岩屋どん

開聞岳の麓にある「岩屋どん」と呼ばれる場所には、室町時代から江戸時代までの追善供養や逆修供養のために建てられた板碑や五輪塔が祀られています。ここは、瑞応院開山智通和尚の修練の場であり、昔から山伏の修験場でもありました。そのことから、建立は瑞応院関係の僧によるものと考えられます。岩屋には、法水(身体を清めるための水)をなめた鹿がみごもり、後に天智天皇の妃になった瑞照姫(のちの大宮姫)が、鹿の口から生まれたという伝説が残っています。

文化財探訪

行ってみてコラム

瑞応院は、枚聞神社の別当寺でした。瑞応院跡は、市の史跡に指定されています。

● 周辺環境

- お問合せ先
指宿市教育委員会歴史文化課文化財係
鹿児島県指宿市十二町 2290
☎ 0993-23-5100
- 所在地
指宿市開聞仙田 6542



地南
区薩

「海洋国家薩摩を めぐるコース」

鹿児島と海の物語を学びたい方におすすめ！

あなただけの知らない鹿児島に
あいにいこう。

東シナ海、南西諸島の海に囲まれている南薩地区は、古くより貿易の拠点の地でした。海からもたらされるもの、文化・情報は薩摩の強みであり、明治維新の原動力となりました。そんな海に開けた薩摩ゆかりの地をめぐるコースです。

JR 鹿兒島中央駅 発

- 1 野間神社一の鳥居
南さつま市笠沙町山野  約 1 時間
 - 2 野間神社
南さつま市笠沙町野間岳  約 24 分 
 - 3 坊津
南さつま市坊津町坊御崎 5510 番地の 1 ほか  約 59 分 
 - 4 枚聞神社本殿
指宿市開聞十町 1366  約 52 分 
 - 5 前田利右衛門墓石
指宿市山川岡見ヶ水 2159 (堂ノ間墓地)  約 8 分
 - 6 山川薬園跡及びリユウガン
指宿市山川新生町 35  約 12 分 
 - 7 河野覚兵衛家墓石群
指宿市山川福元 5780  約 3 分
 - 8 第 8 代濱崎太平次正房墓
指宿市湊 2 丁目 4-1 ほか  約 12 分 
 - 9 宮ヶ浜港防波堤 (捍海堤)
指宿市西方宮ヶ浜  約 14 分 
- JR 鹿兒島中央駅 着  高速 約 55 分

南さつま市指定史跡



野間岳を拝む一の鳥居

野間神社の一の鳥居は、天保 14 (1843) 年の「加世田再撰帳」によると、もともと赤生木村にあったものが破損し、文政 13 (1830) 年に片浦村に移して再興したとされています。鳥居前のその後、現地(山野集落)に移された礎^{いしもと}は不明です。鳥居前の石碑は慶応 4 (1868) 年のもので、「従是 北野間宮 南黒瀬村」と刻まれています。

文化財探訪
行ってみてコラム

鳥居の背後に野間岳があり、鳥居越しに野間岳を綺麗に望むことができます。

● 周辺環境

● お問合せ先

南さつま市教育委員会生涯学習課文化係
鹿児島県南さつま市加世田川畑 2648 番地
☎ 0993-53-2111 (代表)

● 所在地

南さつま市笠沙町山野



野間神社

のまじんじや

南さつま市指定史跡



南さつま市教育委員会から提供

島津忠良も崇拝した神社

野間岳は標高が591mあり、開聞岳とともに東シナ海を航行する船の目標になっている山です。野間神社は、野間岳8合目付近にあります。もとの神社は山頂にあり、東宮に瓊瓊杵尊、木花咲耶姫を、西宮に火闌降命、彦火火出見尊、火明命を祀っていたといわれています。西宮には、中国から伝わった航海の守護神・娘媽神女が祀られています（現在は祀っていません）。今でも船乗りや漁業の関係者に信仰されています。

文化財探訪

行ってみてコラム

台風被害のため、文政13（1830）年に東宮と西宮を統合し現在地に建立されました。2月20日に「二十日祭り」と呼ばれる祭りがにぎやかに行われます。

● 周辺環境



● お問合せ先

南さつま市教育委員会生涯学習課文化係
鹿児島県南さつま市加世田川畑 2648 番地

☎ 0993-53-2111（代表）

● 所在地

南さつま市笠沙町野間岳



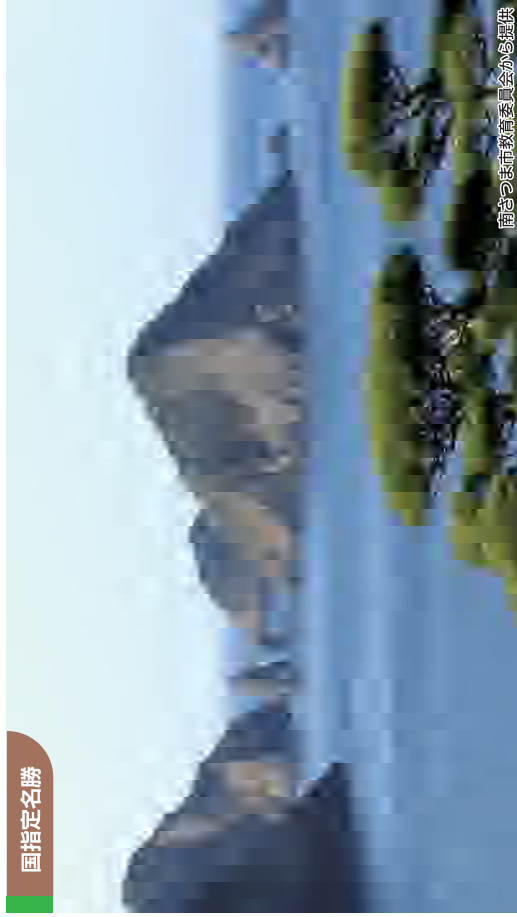
WALK



坊津

ぼうのつ

国指定名勝



南さつま市教育委員会から提供

景勝地として知られた歴史的港町

リアス海岸の自然美に彩られた坊津は、九州の西南端という海上交通の要衝に位置し、かつて東シナ海を行き交う国内外の船が集まる中継港として繁栄し、日本三津の一つに数えられました。近世以降は、海岸の美しい景勝地として注目されるようになります。豊臣秀吉と対立して、文禄3（1594）年に坊津に配流された近衛信輔は、坊津海岸の八つの景勝地からなる「坊津八景」を選んで和歌を詠んだと伝えられています。「坊津八景」の中でも、剣のようにそびえ立つ巨大な2つの石「双剣石」は、歌川広重の「六十余州名所図会」に描かれています。

文化財探訪

行ってみてコラム

双剣石は、輝津館展望所からご覧ください！

● 周辺環境



● お問合せ先

南さつま市教育委員会生涯学習課文化係
鹿児島県南さつま市加世田川畑 2648 番地

☎ 0993-53-2111（代表）

● 所在地

南さつま市坊津町
坊御崎 5510 番地の 1 ほか

枚聞神社本殿

ひらきじんじやほんでん

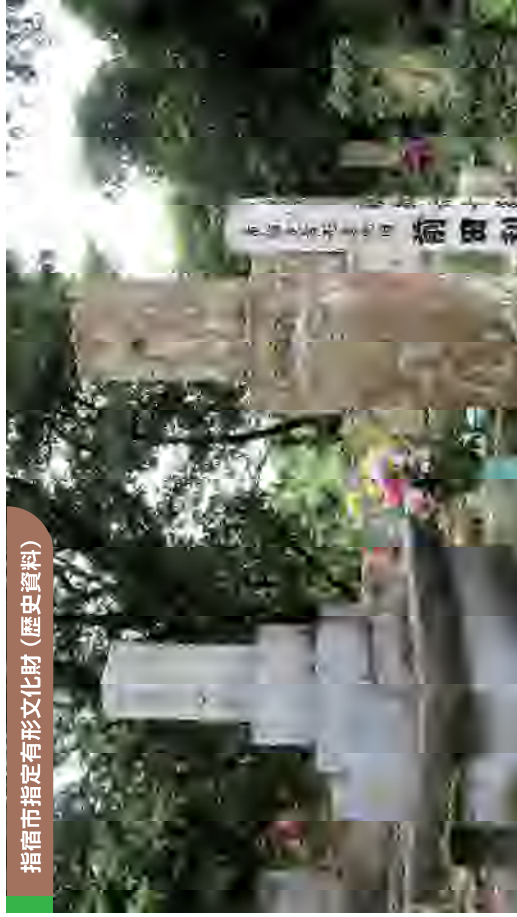
5.

前田利右衛門墓石

まえだりえもんぼせき



県指定有形文化財（建造物）



指宿市指定有形文化財（歴史資料）

航海する者の崇敬が篤い神社

開聞岳は「海門山」とも表記され、航海の目印でした。開聞神は海の神様としての性格をあわせもち、枚聞神社がこれを祀っています。琉球王は航海の安全を祈り「神徳讃仰」の意を表す扁額を奉納しています。

本殿には「奉再興嶋津兵庫入道慶長十五庚戌」（兵庫入道＝島津義弘）の銘が入った擬宝珠が使用され、龍柱には島津重豪（8代薩摩藩主）42歳の厄払いのため、天明6（1786）年11月から同7年正月にかけて取り付けた銘があります。

文化財探訪

行ってみてコラム

晴れた日は、一直線に並んだ勅使殿、幣拝殿、本殿の背後に開聞岳が見えます。

● 周辺環境



● お問合せ先

指宿市教育委員会歴史文化課文化財係
鹿児島県指宿市十二町 2290

☎ 0993-23-5100

● 所在地

指宿市開聞十町 1366



甘諸翁のお墓

山川岡見ヶ水生まれの利右衛門は、宝永2（1705）年に琉球より甘諸を持ち帰り生産をはじめました。その後、栽培の方法を教えてまわり多くの人を飢饉から救いました。甘諸の栽培は水はけのよいシラス台地に適していました。

利右衛門は、琉球から船で帰る際、岡見ヶ水沖合で逆風のために遭難し沈没、溺死したと伝わっています。墓石横に設置されている佐々木廣謙と河野通直による顕徳碑も、利右衛門の功績を物語っています。

文化財探訪

行ってみてコラム

近くには、利右衛門を祀った徳光神社（別名・からいも神社）があります。

● 周辺環境



● お問合せ先

指宿市教育委員会歴史文化課文化財係
鹿児島県指宿市十二町 2290

☎ 0993-23-5100

● 所在地

指宿市山川岡見ヶ水 2159
堂ノ間墓地



6. 山川薬園跡及びリュウガン

やまがわやくえんあとおよびりゅうがん



県指定天然記念物

今でも実をつける老木

山川薬園跡は、万治2(1659)年に薩摩藩が設置した薬園跡です。島津氏は、山川、佐多、吉野の3か所に薬園を設けて薬用植物を栽培していましたが、山川は、その中でも最も古い薬園です。当時は、島津薬園といわれ、レイシ・リュウガン・ハズ・キコク・カンランなど南方産の植物が栽培されていました。リュウガンは、高さ約10m、幹周り約3.5mあり、樹齢300年と考えられています。リュウガンは、4～5月に白い花をさかせ、7～8月に実をつけます。

文化財探訪 行ってみてコラム

リュウガンの実は、生食もできますが、乾燥させて強壮薬として用いられていました。

● 周辺環境



- お問合せ先
指宿市教育委員会歴史文化課文化財係
鹿児島県指宿市十二町 2290
☎ 0993-23-5100

● 所在地

指宿市山川新生町 35



7. 河野覚兵衛家墓石群

こうのかくへえいぼせぎぐん



指宿市指定有形文化財 (歴史資料)

山川の豪商・河野家の墓

河野家は、江戸時代に薩摩藩の南方貿易に貢献した山川の豪商です。代々、覚兵衛と称しています。伊予国河野水軍の出といわれています。山川港に入る外国船の文書の授受に当たっていました。墓石群は、享保2(1717)年～文久2(1862)年にわたる、初代から7代までの歴代覚兵衛とその家族を含む12基の五輪塔からなります。山川石でできており、大変美しい墓石です。

文化財探訪 行ってみてコラム

墓石群の奥には、旧正龍寺跡
墓石群や正龍寺宝珠付角石柱
婆(市指定有形文化財)があります。

● 周辺環境



● お問合せ先

指宿市教育委員会歴史文化課文化財係
鹿児島県指宿市十二町 2290
☎ 0993-23-5100

● 所在地

指宿市山川福元 5780



第8代濱崎太平次正房墓

たいはちだいはまきぎたへいじまさぶさばか

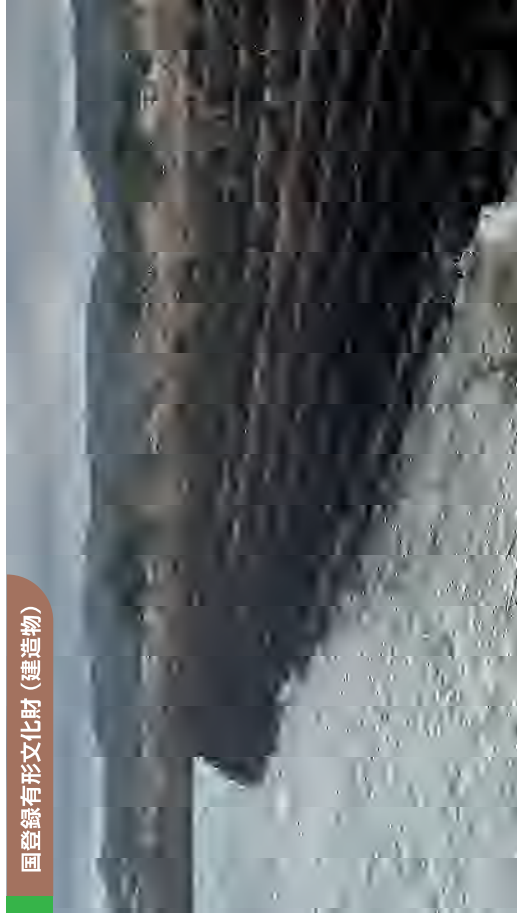
指宿市指定史跡



宮ヶ浜港防波堤（捍海堤）

みやがはまこうぼうはいてい（かんかいてい）

国登録有形文化財（建造物）



薩摩藩の財政を支えた指宿の豪商

濃嶋家は代々指宿の商人で、屋号は「山木（ヤマキ）」です。最も活躍したのが8代太平次で、調所広郷の天保改革に際し、薩摩藩の財政立て直しに大きく貢献しました。続いて島津斉彬の時、代も藩の御用商人として貿易に従事し指宿本店の他に全国に支店を設けて活躍しました。濃嶋家の墓は、元は湊南墓地にありましたが、市営小田公苑墓地の開設にともない移されました。8代太平次の墓だけは、功績を称えて湊見墓公園の北側に移設保存されています。

文化財探訪

行ってみてコラム

JR指宿駅から指宿港の一角には、濃嶋家ゆかりの史跡が多く残っています。太平次公園には銅像も！

● 周辺環境



- お問合せ先
指宿市教育委員会歴史文化課文化財係
鹿児島県指宿市十二町 2290

☎ 0993-23-51100

- 所在地
指宿市湊2丁目 4-1 ほか



島津斉興の築いた防波堤

松尾城跡下にある宮ヶ浜港では、雨風によりしばしば船が転覆する被害を受けていたため、天保5(1834)年に島津斉興(第10代薩摩藩主)が宮ヶ浜沖合に内金庫で延長77間(約140m)の防波堤を築かせました。明治年間に延長工事をしています。防波堤が築かれたことにより、船が安全に停泊できるようになりました。指宿の豪商の濃嶋太平次は、この港を拠点としながら全国の主要港に支店を設けて商業を営みました。築造の経緯については、市指定文化財「指宿邑捍海堤記碑」に刻まれています。

文化財探訪

行ってみてコラム

防波堤の石材は、溶結凝灰岩が使用され、知林ヶ島や観音崎、鹿兒島市平川の慈眼寺、錦江町城ヶ崎から運ばれました。

● 周辺環境



- お問合せ先
指宿市教育委員会歴史文化課文化財係
鹿児島県指宿市十二町 2290

☎ 0993-23-51100

- 所在地
指宿市西方宮ヶ浜





「その他文化財」

あなただけの知らない鹿児島に
あいにいこう。

他にも魅力的な文化財が数多く残されています。
特に、地域に伝わる祭りや伝統芸能、植物などは楽しめる時期が
決まっています。
春夏秋冬、四季を感じながら文化財巡りをすることもオススメです。
何度でも足を運んでください。

下園モモカンドン

しもぞのももかんどん



枕崎市指定有形民俗文化財

豊穣を祈願する牛の神様

上竹門、下園門、下竹門、加治屋門、上原門と門ごとに5か所あり、それぞれ指定されています。モモカンドンは、田の神の石像がつくられる以前から信仰の対象(農耕神)とされてきたものです。形態から牛の舌と頭であるとされており、旧暦10月の亥の日の祭礼で、「一升蒔き三俵あれモ一モ」と牛の鳴き声を唱えることから、地元では「モモカンドン」と呼ばれました。豊穣と子孫繁栄を祈念するものです。

● お問合せ先

枕崎市役所 教育委員会文化課 文化係
鹿児島県枕崎市山手町 175 番地

☎ 0993-72-9998

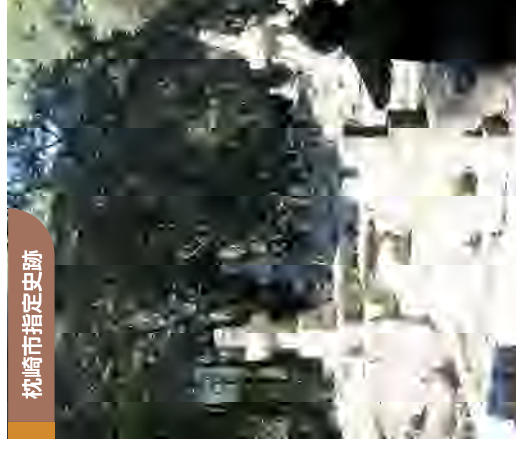
● 所在地

枕崎市砂原町 842-1、794
782、859、887



喜入氏累代の墓

きいれしるいだいのほか



枕崎市指定史跡

鹿籠の領主の墓所

鹿籠の領主であった喜入氏累代の墓です。喜入氏は島津氏の支族にあたります。天正6(1578)年に鹿籠の領主となった喜入5代季久から、19代久博までの墓があります。ただし、永吉に移封された6代久道と、北郷氏(都城島津家17代)を継いで輩出した9代忠長の墓は、この墓地にはありません。

● お問合せ先

枕崎市役所 教育委員会文化課 文化係
鹿児島県枕崎市山手町 175 番地

☎ 0993-72-9998

● 所在地

枕崎市桜山本町 391



宗前岳の牧神

そうぜんだんだけのぼくしん

枕崎市指定有形民俗文化財



枕崎市教育委員会から提供

蒼前神を祀る宗前岳

藩政時代から宗前岳・国見岳の山麓に潘直宮の牧苑(牧場)がありました。江戸時代後期の地誌「三国名勝図会」に、宗前岳は「牧馬苑あり、牧神を崇め建つ」、国見岳は「これまた牧馬苑あり、以上皆鹿籠村にあり」と記されています。宗前岳山頂には、放牧された馬の安息繁殖を願って蒼前神(馬頭神)の御神体と石の祠を建立してあります。

● お問い合わせ先

枕崎市役所 教育委員会文化課 文化係
鹿児島県枕崎市山手町 175 番地

☎ 0993-72-9998

● 所在地

枕崎市春日町 576



旧知覧飛行場油脂庫

ぎゅうちらんひんこうじょうゆしこ

南九州市指定史跡



コンクリートで覆われたレンガ造りの倉庫

練習機の潤滑油やグリースなどを保管した倉庫です。

壁面には円すい状の窪みが何か所も刻まれています。これは昭和20(1945)年3月以降に米軍の空襲を受けた時の傷跡です。

● お問い合わせ先

南九州市教育委員会文化財課文化財係
鹿児島県南九州市知覧町 17880(ミュージアム知覧内)

☎ 0993-83-4433

● 所在地

知覧町 17955-2



旧知覧飛行場給水塔

ぎゅうちらんひんこうじょうきゅうすいとう

南九州市指定史跡



今なお原形をとどめる給水塔

昭和16(1941)年に飛行学校の施設として建設され、当時のまま残されている唯一の施設です。下郡を流れる思川から取水し、ポンプで高架式のタンクに貯水しました。主に飲料水や飛行機の整備のための水に利用されてきました。戦時中は真つすぐ立っていましたが、地盤が悪かったため現在は少し傾いています。高さは約13m、直径は約6mあります。

● お問い合わせ先

南九州市教育委員会文化財課文化財係
鹿児島県南九州市知覧町 17880(ミュージアム知覧内)

☎ 0993-83-4433

● 所在地

知覧町 17897-1



旧陸軍知覧飛行場防火水槽

ぎゅうちらんひんこうじょうぼうかすいそう

国登録有形文化財(建造物)



お椀型の防火水槽跡

防火用の水槽です。直径約10mあります。現在は1基しか残っていません。近くに本部があったため、本部的ものと考えられます。半地下式で、地面を掘って砂利を敷き、その上をコンクリートで固めています。3か所ある階段は、水のみ出しと管理のためといわれています。

● お問い合わせ先

南九州市教育委員会文化財課文化財係
鹿児島県南九州市知覧町 17880(ミュージアム知覧内)

☎ 0993-83-4433

● 所在地

知覧町 17932



旧陸軍知覧飛行場弾薬庫

きゅうりくぐんちらんひんこうじょうだんやくこ

訓練用実弾の倉庫跡

飛行演習では、飛行場の周辺を飛び「場周飛行」、宙返りなどの「特殊飛行」、複数機で飛び「編隊飛行」などの他、射撃訓練も行いました。その射撃訓練用の機銃弾が入れてありました。壁面には、米軍に攻撃された弾痕が数多く残っています。

国登録有形文化財 (建造物)



● お問い合わせ先

南九州市教育委員会文化財課文化財係
鹿児島県南九州市知覧町郡 17880 (ミュージアム知覧内)

☎ 0993-83-4433

● 所在地

南九州市知覧町郡 17919-1



御領山下の七観音塔

ごりょうやましたのしちかんのんとう

室町時代の七観音塔

ちどもと山下地区公民館敷地内の隅に塔の半分が埋もれていたものを、昭和56(1981)年に移転し復元したものです。塔の頂部は六角形の笠で、円柱には観音立像7体が浮き彫りされています。文明12(1480)年にできたものであり、大変古いものの笠の一部を欠損する他はほぼ完形です。地元では痘瘡(天然痘)などの病にかからないように願ったとも伝えられています。

南九州市指定有形民俗文化財



● お問い合わせ先

南九州市教育委員会文化財課文化財係
鹿児島県南九州市知覧町郡 17880 (ミュージアム知覧内)

☎ 0993-83-4433

● 所在地

南九州市額娃町御領字山下 5816-3



旧陸軍知覧飛行場着陸訓練施設鎮礎

きゅうりくぐんちらんひんこうじょうちやくりくぐんれんしせつちんてい

三点着陸の訓練施設

どのくらいの高高度で飛行機を接地させればよいのかを体感させる施設の一部です。約150m先には滑車で滑らせて訓練しました。当時の飛行機は、両翼と機体後方の3か所に車輪がついており、着陸するには三輪とも同時に接地させる必要があります。うまく着陸できないと機体がバウンドし、機体を傷めたり搭乗員が鞭打症になってしまったりしたようです。

国登録有形文化財 (建造物)



● お問い合わせ先

南九州市教育委員会文化財課文化財係
鹿児島県南九州市知覧町郡 17880 (ミュージアム知覧内)

☎ 0993-83-4433

● 所在地

南九州市知覧町郡 17885-3



湊川橋

みなとかわばし

現在も使用されている岩永三五郎作の橋



指宿市指定有形文化財 (建造物)

甲突川五石橋をつくった岩永三五郎が、天保15(1844)年に建設した橋です。家老の調所広郷が、交通の便をはかり産業を発展させようと考へ依頼しました。大正5(1916)年に、道路と路面の高さを揃える工事をおこなうまで、橋の中央が太鼓のように丸く盛り上がっていたことから「太鼓橋」と呼ばれていました。老朽化のため、平成14(2002)年に修理され現在の姿となっています。

● お問い合わせ先

指宿市教育委員会歴史文化課文化財係
鹿児島県指宿市十二町 2290

☎ 0993-23-5100

● 所在地

西方宮ヶ浜



春

近衛屋敷跡

藤が美しい近衛謫居跡

このえやしきあと



南さつま市指定史跡

南さつま市教育委員会から提供

文禄3(1594)年に、豊臣秀吉と対立して坊津に流された近衛信輔が住んでいた屋敷跡です。龍巖寺下にあります。手植えされたといわれる藤は「近衛藤」と呼ばれ、毎年美しい花を咲かせます。大正14(1925)年に、坊泊戸主会が「関白准三宮近衛信尹公謫居跡」と書いた碑を建てました。書は、子孫の近衛文磨氏によるものです。

夏

加世田の水車カラクリ、土踊 竹田神社の六月灯

かせだのすいしやくらくり、さむらいおどり



県指定有形民俗文化財 (南さつま市)、
県指定無形民俗文化財 (南さつま市) 日本遺産

南さつま市教育委員会から提供

加世田の水車カラクリと土踊は、例年7月23日の竹田神社の大祭(六月灯)で公開されます。水車カラクリは、水車を動力源として人形を動かす、芝居を演じさせるカラクリ人形です。人形は毎年変わりますが、武者人形が多いです。水車カラクリが行われるのは、県内では竹田神社と知覧の豊玉姫神社の2か所だけです。土踊(二才踊、稚児踊)は、島津忠良が出陣前に勢揃いする時に、部下を集めて踊らせたのがはじまりといわれています。

夏

利永琉球傘踊り

としながりゆうきゆうかさおどり



指宿市指定無形民俗文化財

指宿市教育委員会から提供

江戸時代、薩摩に上る琉球使節団一行が山川港に入港し、利永地区を通して航海安全の守護神である牧間神社に参詣して舞踊を奉納しました。利永地区の人がこれを真似てつくりあげたものが利永琉球傘踊りです。使者たちが生きて再び琉球へ帰れるかと心配し涙ながらに船出した道中の次第を表現しているといわれています。「ツグジソドイ」といい、めでたい時に踊られてきました。現在は、利永小学校合同運動会や山川地域文化祭で踊られています。

夏

高橋十八度踊り

玉手神社でおこなわれる異色の行事

たかはしじゅうはちおどり



南さつま市指定無形民俗文化財

南さつま市教育委員会から提供

水難を逃れるために水神(ヒツチンドン)を祭る珍しい踊りで、別名「ガラッパ踊り」、「夜具かぶり」といわれます。元々旧暦の6月8日が祭りの日でしたが、昭和58(1983)年頃から8月22日におこなわれています。ヤシ科の木「シユロ」でつくった仮面を被った青年(ヨッカブイ)が、観客を笹の葉でおはらいし、子供たちを袋に詰め込むなどして悪いことをしないよう諭します。昔から祭りに参加すると水難を逃れると信じられています。

夏

メヒルギ群生地

めひるぎぐんせいち



南さつま市指定天然記念物

メヒルギは、別名「リュウキウコウガイ(琉球莽)」とも呼ばれる「マンングローブ植物」の一種です。常緑で、種子島・屋久島以南の各島に分布します。南さつま市大浦町と鹿児島市喜入(国指定)が自生北限地とされています。花は7~8月頃に開花します。

メヒルギ自生北限地

秋

上野猿の子踊り

うえのざるのおどり



指宿市指定無形民俗文化財

指宿市教育委員会から提供

今和泉忠郷(今和泉島津家初代)が日向へ行った際、猿使いの芸を見て感動し、その猿使いを領内に住ませ、毎年春と秋に領民に芸を見せてかねての苦勞をねぎらいました。猿は山の神・田の神の使いと考えられていたことから、豊作の祭りとして猿の子踊りが伝えられるようになりました。現在は、開聞郷土芸能祭や開聞地域文化祭で踊られています。

冬

知覧の十五夜そらよい

豊作を祈る農耕儀礼

ちらのんのじゅうごやそらよい



県指定無形民俗文化財（南九州市）

南九州市教育委員会から提供

南薩摩の十五夜行事は、国の無形民俗文化財に指定されていますが、中でも知覧の「そらよい」は、知覧町だけに見られるめずらしい十五夜行事です。旧暦8月15日夜の綱引きにともなう行事で、数え年7歳から14歳までの男の子たちによって行われます。藁でつくった笠(ヨイヨイ笠)や腰ミノをつけ、「ソーラヨイ、ソーラヨイ」の掛け声とともに、輪をつくり回りながら四股をふむ動作をおこないます。そらよいとは「それは良い」という意味です。

冬

浜見ヶ水のサンコンメ

はまぢやがみずのさんこんめ



指宿市指定無形民俗文化財

指宿市教育委員会から提供

1月7日の魂火焚きの前にサンコンメがおこなわれます。「無病息災・五穀豊穡」などの祈願を書いた半紙を貼った笠を被った15歳を迎えた少年たちが、約2mの孟宗竹を担いでぐるぐる回り、竹を地面に放り投げます。これを交替で繰り返し、竹が割れて中の小銭が飛び散ると、見物人は小銭を拾い1年の幸運を祈ります。昔は米粒でおこなわれていました。通過儀礼のひとつであり、儀礼を済ませた者は漁に出た際に一人前の分配を受け取ることができたといわれています。

数え年15歳の男の子が主役の行事

<参考文献一覧>

- 鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書第3集」(S31)
- 鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書第8集」(S36)
- 鹿児島県教育委員会「鹿児島県文化財調査報告書第38集」(H4)
- 五代秀典、橋口兼柄「三人名勝図会第2巻」(S57)
- 鹿児島県教育委員会「かこしま文化財事典」(H14)
- 指宿町教育委員会「指宿町文化財調査報告書第3集」(S59)
- 南九州市教育委員会「南九州市文化財ガイドブック(願地地区)」(H28)
- 知覧町「知覧町郷土誌」(S57)
- 知覧町教育委員会文化財課「知覧町文化財ガイドブック 知るまら知るまら知覧」(H12)
- 上東三郎「熊・竹田神社周辺史跡-文化財探訪手引き」(H17)
- 川辺町郷土史編集委員会「川辺町の文化財 文化財要覧」(S57)
- 大浦町郷土史編集委員会「大浦町郷土誌」(H7)
- 金峰町郷土史編集委員会「金峰町郷土史下巻」(H元)
- 笠沙町教育委員会「笠沙町文化財観光の旅」(H2)
- 坊津町教育委員会「坊津町の文化財」(S58)
- 萩崎市誌編さん委員会「萩崎市誌下巻」(H2)
- 宗前鉄男「萩崎市文化財ものがたり」(H21)
- 山川町「山川町史 増補版」(H12)
- 山川町教育委員会「山川の文化財第1集」(S54)
- 山川町教育委員会「山川の文化財第6集」(S60)
- 山形町教育委員会「山形町の文化財山形町文化財少年団の活動第11集」(H6)
- 閉間町郷土史編集委員会「閉間町郷土誌」(S48)
- 指宿市教育委員会「指宿市の文化財」(S48)
- 指宿まこと博物館実行委員会「指宿まこと博物館 指宿文化遺産図鑑 新1巻」(H27)
- 山田勇「鹿児島県郷土開発史」(H5)
- 指宿まこと博物館ホームページ
- 萩崎市ホームページ
- 南九州市ホームページ
- 知覧特設平和会館ホームページ
- 南さつ萩市観光協会ホームページ
- 文化遺産オンライン(文化遺産データベース)
- 現地説明版